

白沢岳 1464m

齋藤 美和子

- 山行年月日:平成 30 年 10 月 13 日
~14 日
■メンバー:大竹尚子 齋藤美和子

会津の秘境、大津岐の奥である。桧枝岐から大津岐をめざす。若松は、朝 6 時に出発。朝もやの中を進む。御池に向かう七折峠は紅葉の始まり。ブナの黄葉が美しい。御池を越してさらに曲がりくねった国道を進む。大津岐林道の入口は工事にて通行止めの印。無視して進むと、直前を行っていたトラックが途中で止まり、この林道は 9 時からから通行止め、お昼 1 時間のあとは 5 時にならないとだめと教えてもらった。

一の沢の発電所には、9:10 に着いた。廃墟になりつつある別荘のお庭に駐車。発電所前の橋は普段はゲートがあるが、本日はあいていた。荷物も軽い林道歩き。一の沢沿いの林道には、アケビ、山ぶどうがなっている。ブナの倒木には、キノコ。林道沿いの景色は素晴らしい。紅葉が始まり、針葉樹とのコントラストが美しい。ジイ沢の入り口には、工事の人々と車両で道いっぱい。断って通る。林道終点が取水口であった。ここにテントを張る。一の沢の偵察をして戻り、盛大なたき火。夜は尚子さんの料理。栗ご飯とキノコ汁であった。空は満天の星。流れ星も出た。秘境を満喫して明日に備えて眠る。

翌日までたき火が残っていた。私と尚

子さんは、向かいの尾根に乗り尾根筋に白沢岳を目指す。7 時出発。結構急であるが、稜線にでるとわりと歩きやすい。藪は薄い。岩場も出るし、急であるがどんどん進む。尾根にある松のりっぱなこと。でも松茸なし。ブナも出てくる。時



稜線途中の立派な松たち

折、木の間から、右手は平が岳や燧カ岳、左は、白沢スラブが顔を出す。素晴らしい。来てよかった。山頂は 9 時 40 分であった。やぶで遠くの景色はなにも見えなかった。でも満足。こんな秘境、なかなか来れない。来年は白戸山と確認して下山。帰りは、尾根が複雑でテープを張ってないと迷うところが 3 か所くらいあった。キノコはなかったが無事 2 時間で下山。憲さんはジイ沢から白戸沢に向かった。沢の偵察とのことであった。待っていると、にこにこして戻ってきた。いい沢であったようだ。テントを撤収して戻る。本当にいい山でした。尚子さん、憲さんありがとうございます。来年もよろしくお願いします。